

中京大学の坂田隆文先生による「高校生に売れる筆箱」の商品企画についてのディスカッション講座をクラス単位で開催しました。

第3回アクティブ・ラーニング講座

テーマ：「アクティブ・ラーニング講座応用編」

日時：平成27年7月6日（月） 第1限～第7限（7クラスがクラス単位で受講）

講師：中京大学総合政策学部 坂田隆文教授

会場：関高校桜ヶ丘会館3階大教室

7月6日（月）に第3回の中京大学の坂田先生によるアクティブ・ラーニング講座を受講しました。今回の講座は、先生の講演を聞くといった受け身のものではなく、グループごとに企画した「高校生に売れる筆箱」の課題や疑問について、具体的な指導・助言をいただき、先生と一緒に来校された（坂田先生のゼミに所属されている）2名の学生の方からもアドバイスをいただきました。

7月中にクラス内のプレゼンテーション、9月には学年全体のプレゼンテーションを開催することを確認して、第3回の講座は終了しました。



【生徒の感想】

■ 今日のアクティブ・ラーニングは、行き詰まりました。自分たちがこんな機能があったらいいなと思ったアイデアはみんなと同じで個性がないものになってしまいました。個性的なアイデアを出すのはとても難しく、もっと頭を柔らかくしてたくさんアイデアを出さなければいけないと分かりました。大学生の方からまずはターゲットを絞るといいとアドバイスを頂きました。とにかくアイデアを出していくのではなく、ある程度**どんな筆箱にしたいのかイメージしながら考える必要がある**とわかりました。今**自分が使っている筆箱や、売られている筆箱はいろいろな考えが集まって作られているんだ**なと思いました。（女子生徒）

■ 私は今日、先生に「**創造性・独創性がない。**」と、言われました。正直、心が折れそうになりました。でも、そのあとグループでさらに良いものにしようと工夫をこらしました。皆で意見を出しあうことができ、良かったと思います。筆箱を作るのは、とても難しいです。だからこそ、**良いものを作ろうと皆で話し合えます。**厳しいことを言われます。でも、だからこそ、頑張ろうと思えます。なので、残りわずかしかありませんが、皆で意見を出し合って、より良い筆箱を企画を考えたいです。（女子生徒）

■ 自分はグループのリーダーでいろいろと案を出して、こういうのはどうだろうなどと、班全員が協力して、話し合うことができた。しか坂田先生の言われた通り、**何を目的として作っているのか、一体どういう理由があってそうするのかなど、もうちょっと具体的な案を出せれば良かった**です。あとは別のグループといかに差が出せるか、班全員で話し合いたいと思いました。改善点はたくさんあるので、次回はそれを直しつつ、次のステップに進みたいです。（男子生徒）